

公の施設目標管理シート（直営）

資料3

問合せ先 025-223-7236

年度	令和元年度		
施設名	新潟市児童センター	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設です。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R1.6.28
歳入		正職員		修正日	
歳出		非常勤	5	評価日	R2.7.2

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H28実績	H29実績	H30実績	R1目標					R1結果
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者76人以上(単位:人)	79.6	76.9	71	76	75	過去3年間の平均値相当の目標を設定した。	子育て支援の事業や活動の充実日々、月々、年間の統計	乳幼児親子の来館者数が増加した。イベントの充実やPRの成果が数字に表れたものと思われる。数値ではわずかに届かなかったが、最近減少が続いていた中で、昨年度より平均4人も増加したので達成とした。	B:達成
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率79%以上のイベントが8割(単位:%)	62.5	69.4	77	79	76	昨年度の実績より3%増の目標値を設定した。	来館者への積極的な声掛け 近隣小学校への働きかけ	昨年度をわずかに下回った。目標の79%を下回るイベントが固定してきた。子どもたちが参加したいと思うイベントの内容や声かけなどに努めていく。	C:未達成
3	市民	新規・継続使用団体の確保	年20団体以上(単位:団体)	20	17	22	20	18	過去3年間の平均値相当の目標を設定した。	小学校の教育活動への提案や園外保育へのPR	中央区の小学校長会や公私立幼稚園長会等において、積極的にPRした。3月の利用は毎年数団体あるが、1か月間休館となってしまったため達成とした。	B:達成
4	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」75%以上(単位:%)	80.0	65.6	80.0	80.0	80.0	H29実績のみ著しく低かったため、過去3年間の平均ではなく、H30実績と同値を設定した。	来館者対象の政策改革本部の利用者アンケート実施	「とても満足」の数値が目標値を5ポイント上回った。「おおむね満足」を含めると、98%に達している。引き続き、利用者の満足に努めていく。	B:達成
5	市民	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを13回以上(単位:回)	12	11	14	13	13	乳幼児の来館者数やイベント参加人数の減少傾向から、広報活動に積極的に取り組むための目標とした。	市内子育て支援施設等へ訪問広報活動 小学校生活科や園外保育受入のPR	「ゆりかご学級」や小学校長会、幼稚園長会での広報活動に努めた。近隣10小学校のガイド家庭数配付を確実に行った。3月にもPRを予定していたができなかった。	B:達成
6	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	万代市民会館全体で行う避難訓練に職員・来館者6人以上参加(単位:人)	3	3	6	6	9	子どもを遊ばせるために来館した人に避難訓練への参加を進めることは難しいが、親子一組参加の目標とした。	勤務時間やイベントなどの調整 来館者が協力しやすい体制づくりや働きかけ	今年度2回目の避難訓練時、小学生が来館していたため、合計で達成した。今後も達成目指して、参加してもらえるよう声をかけていく。	B:達成
7	業務	学生ボランティアの確保	年間100人以上(単位:人)	96	89	116	100	142	過去3年間の平均値相当の目標を設定した。	ボランティア登録制度 大学のボランティア担当窓口への働きかけ	「遊びフェスティバル」や「豆まき会」などの大きなイベントにおいての学生のボランティアの協力を多く得ることができた。今後も大学や専門学校へ積極的に働きかけていく。	A:達成(優)
8	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業参加人数平均23人以上(単位:人)	22.6	22.7	23	23	25	過去3年間の平均値相当の目標を設定した。	連携強化のための相談や話し合い すみ分けや役割分担明確化による事業の充実	地域組織活動グループとの連携が円滑に進められ、計画どおりに活動が行われた。参加者が多い事業と少ない事業があるが、いずれも活動が充実している。	A:達成(優)
9	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会等へ職員の参加(平均1人2回 計10回以上)(単位:回)	9	16	13	13	16	研修の機会の減少や出張しにくい体制であるが、過去3年間の平均値相当の目標値を設定した。	研修会への積極的な参加 自主研修の奨励	児童厚生員の基礎研修や中堅研修、児童健全育成推進財団主催の研修など、職員が積極的に希望して参加することができ、事業等に効果的に生かすことができた。	A:達成(優)
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>来館者が減少傾向にあります。以下の取組を充実させ、来館者の満足や確保に努めていきます。運営課題と向き合い、自らの資質・指導力の向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、事業の充実に努めます。また、日々の施設遊具の点検や遊びの見守りを確実にし、安心安全で健全な遊びの場を子どもたちに提供します。</p> <p>「施設の広さや活動の充実度」「遊具の種類の豊富さ」「遊びの多様性」「一人ひとりとかかわりながら具体的なアドバイスに努める職員の対応」「イベント参加時の楽しさ」等に加えて、「年齢差や学校枠を超えてかかわり交流できる児童センターの良さ」を味わってもらえるように、日々、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため3月の1か月間休館となったが、令和1年度の1日平均来館者数は、平成30年度よりも4人多かった。水曜日の乳幼児対象のイベントの参加者数の増加を始めとして、乳幼児親子が増加した。11か月の内、4か月が前年度より来館者数が増加している。中でも、6月は1日平均約40人の増加である。これは、土日に魅力的なイベントがたくさんあったためと考える。一方で、小学生の来館者数が減少した。また、職員が様々な研修に積極的に参加し、児童センターの充実に資することができた。今後もこの姿勢を大切にしていきたい。今年度も交付金により、多くの遊具や備品をリニューアルすることができた。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの中止や臨時休館が大きく影響していくことが予想される。可能な限り、市民や乳幼児・児童に広く知ってもらえるようにPRに努め他の施設にはない児童センターのよさや持ち味を積極的に発信していきたい。また、研修等を通して職員の資質向上に努めていき、「また来たい」と感じる児童センターを目指し、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をしていきたい。</p>